

第10回「一宮の魅力ある海岸づくり会議  
粗粒材養浜予備試験施工の結果について

平成26年 10月5日

千葉県 長生土木事務所

# 粗粒材養浜予備試験施工の概要

## 【目的】

粗粒材養浜の移動  
状況・生物への影  
響を確認する。

## 【場所】

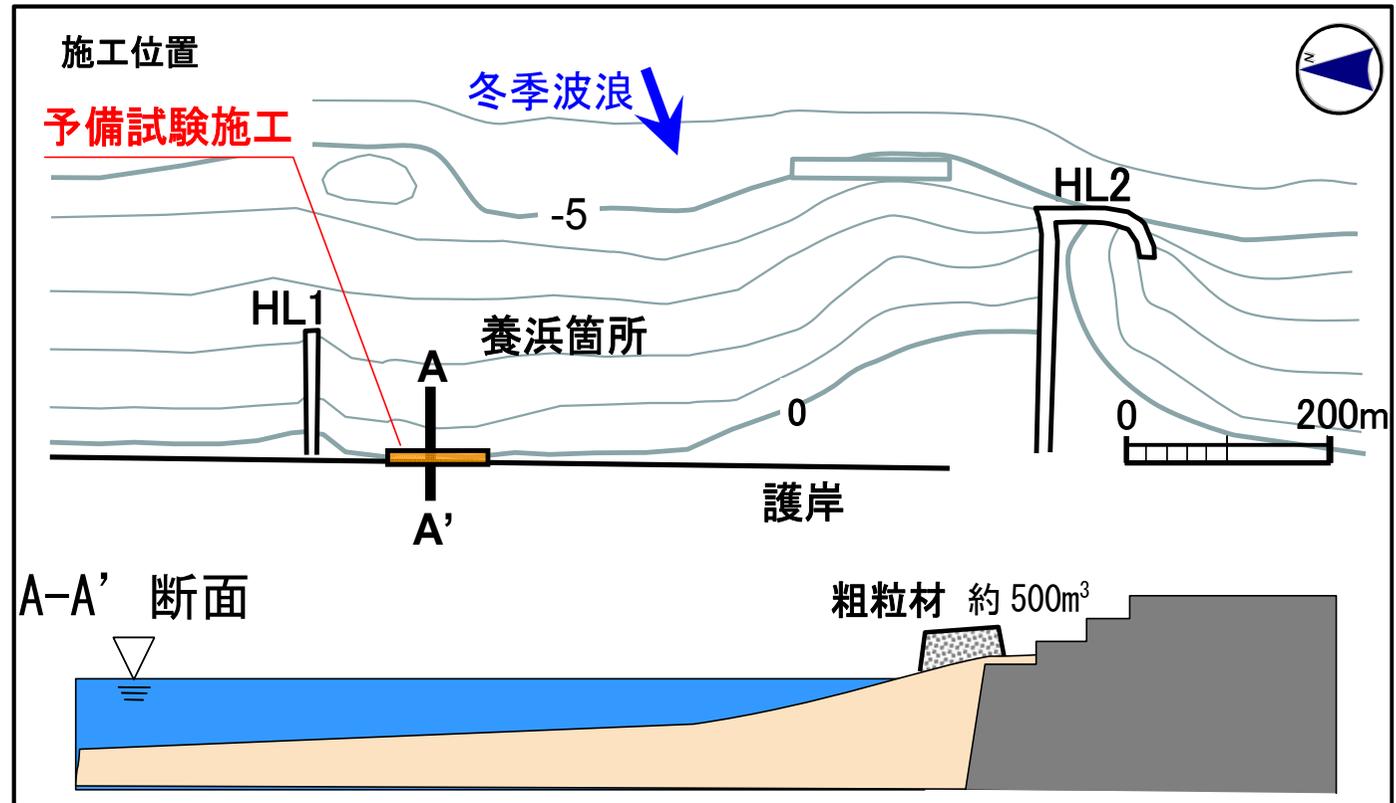
1-2号ヘッドランド間

## 【投入時期】

平成26年3月3日

## 【養浜材・量】

7号採石 2.5～  
5.0mm, 500m<sup>3</sup>



## モニタリング調査の目的

モニタリング調査は、以下の項目について検証することを目的に実施した。

- 投入した粗粒材（礫分）が汀線部に留まること。
- 投入後の粗粒材（礫分）が、春季～夏季の平均波向の作用により、砂に覆われること。
- 砂質の海浜に生息する海生生物の生息環境に影響を与えないこと。  
（砂質の海浜に生息する海生生物の生息場が形成されること。）

### 粗粒材養浜の施工時期及びモニタリング調査等のスケジュール

	2013年			2014年												2015年		
	10月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
沿岸流の向き	← 南			← 北						← 南 →								
粗粒材投入予定地における漂砂の動き	侵食			堆積						台風			侵食					
汀線部でのチョウセンハマグリ稚幼貝の生息量	▶			▶														
粗粒材養浜の施工時期				予備試験施工						本試験施工								
環境モニタリング調査 (粒度組成、底生動物等)	● 秋季調査						● 春季調査			● 夏季調査			● 秋季調査					
本試験施工前の事前計測 (地形、粒度等)																●		

# 1. 底質調査

## 1.1 底質調査の実施状況

粗粒材のヘッドランド間の移動状況の把握を目的として追跡調査を実施した。

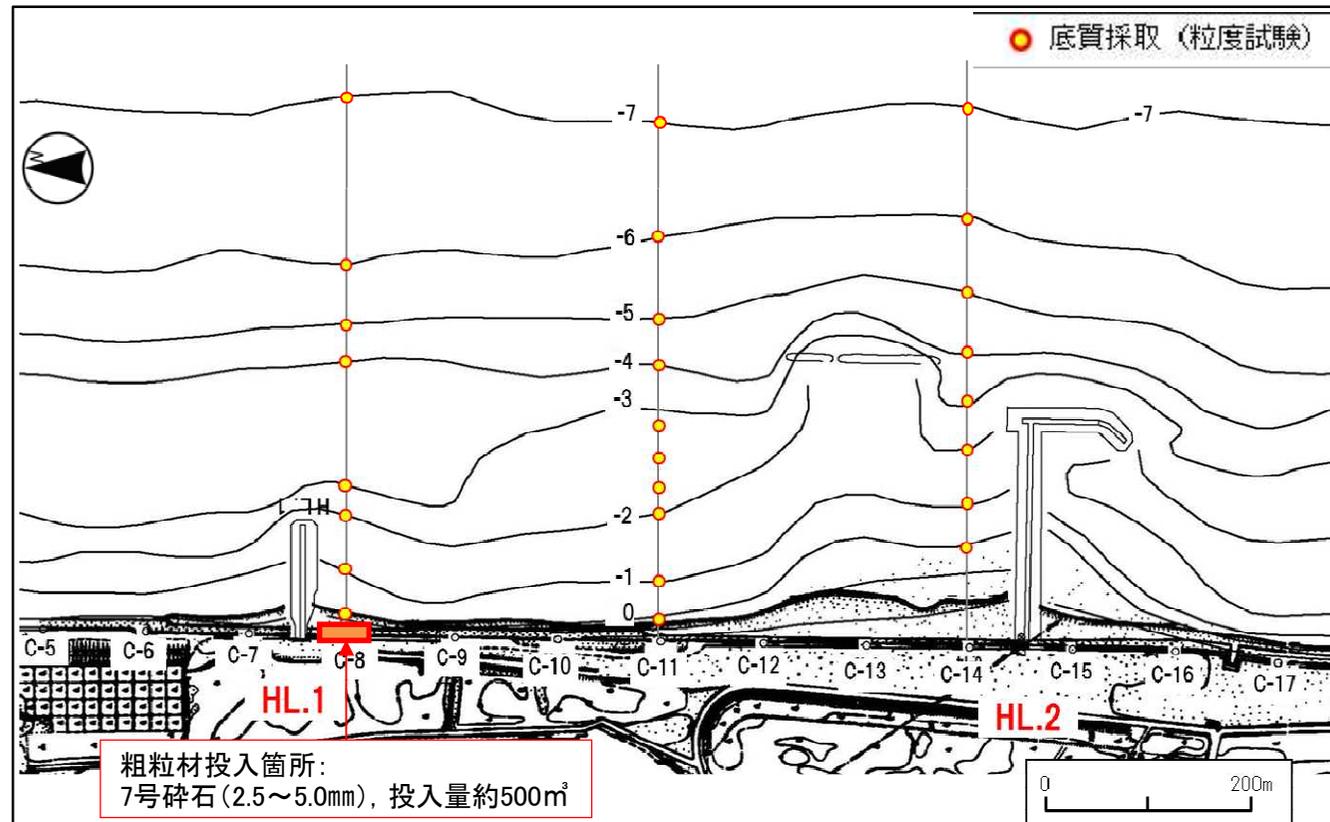
1. 調査実施日

- ・平成26年3月25日(投入後約2週間), 平成26年4月 8日(投入後約4週間),  
平成26年7月25日(投入約4ヶ月半後)

2. 調査場所: HL1号堤~2号堤

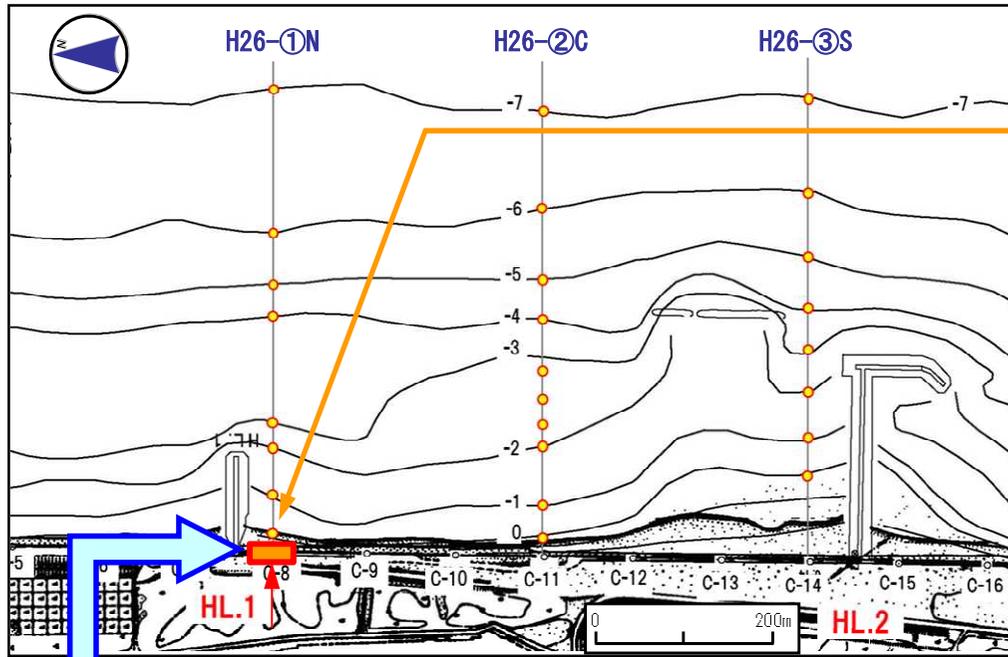
3. 調査内容

粗粒材の岸沖方向の移動を確認するために、汀線部から沖合で底質採取 (T. P. 0m~T. P. -7mまで、沖合方向に1m毎に採取) を行い、粒度分析を実施した。(平成26年7月25日調査は汀線部のみ。)



底質調査位置

# 1. 底質調査 1.2 粗粒材投入後の汀線部の状況



## 粗粒材投入後の砂の堆積状況 (測線H26-①NのT. P. 0m地点)

粗粒材の上に砂が堆積し、砂層厚は増加していった。



粗粒材投入後 約2週間  
粗粒材上の砂層厚40cm

## 粗粒材投入箇所の状況 (7号砕石2.5~5.0mm, 投入量500m<sup>3</sup>)

投入後2週間で、粗粒材は細砂で覆われみられなくなっている。



投入開始1日後:平成26年3月4日

投入後 約2週間:平成26年3月25日



粗粒材投入後 約4週間  
粗粒材上の砂層厚48cm